

震災で被害を受けた地域の子どもたちが、思いっきり身体を使って遊べる環境への第一歩
校庭に遊具を復活させるプロジェクト

「親子井型も登場！ジャングルジム&登り棒贈呈式」

4/16(火)12時20分～ 岩手県 山田町立 山田北小学校

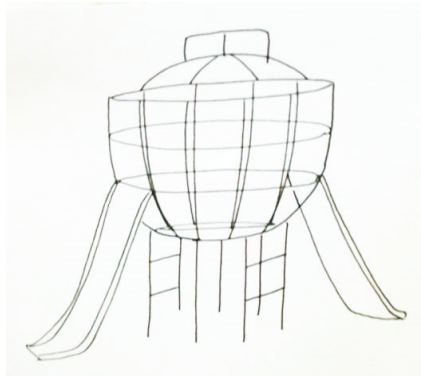
4/16(火)15時45分～ 岩手県 宮古市立 鯉ヶ崎小学校

一般社団法人 児童夢基金（東京都世田谷区 代表理事 高岡哲郎）は、「校庭に遊具を復活させるプロジェクト」の第四弾 第五弾として、2019年4月16日（火）12時20分～「岩手県 山田町立 山田北小学校」、同日15時45分～「岩手県 宮古市立 鯉ヶ崎小学校」にて、ジャングルジム寄付贈呈式を開催いたします。

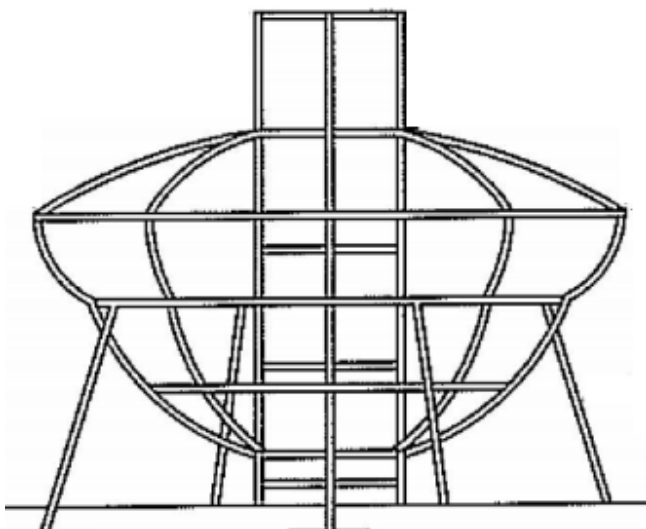
このプロジェクトは、東日本大震災で被害を受けた地域の子どもたちが、思いっきり身体を使って遊べる環境を整えるため、校庭に再び遊具を復活させようという試みに基づくものです。当時は、体育館を避難所として解放し、廊下には支援物資が並び、校庭には仮設住宅が建てられたりと、子どもたちは校庭も体育館も使えない状況が続きました。当協会による現地教育現場での調査やヒヤリングより、復興は子どもたちの遊びの環境整備まで十分にいきわたっておらず「遊具で遊んだことがない」「遊具をみたことがない」という児童もいるという現状をうけ今回の支援がスタートしました。個人や企業からの支援金により、去年は岩手県で3校の学校への寄贈を実現しました。

今回、岩手県 山田町立 山田北小学校には、日本橋の老舗「玉ひで」による1社支援となり、当日は子どもたちに親子井が振る舞われ、8代目主人 山田 耕之亮氏による「おいしい！」をテーマにした食育のお話の後に、どんぶりをモチーフとしたオリジナルデザインの「親子井ジャングルジム」が贈呈されます。

親子井ジャングルジム



イメージ図



■「校庭に遊具を復活させるプロジェクト」寄付贈呈式概要

場所：岩手県 山田町立 山田北小学校
日時：2019年4月16日(火)午後12時30分～
(岩手県下閉伊郡山田町第14地割21)

内容：12:20～親子丼 昼食会
12:30～「おいしい！」食育のお話し
玉ひで8代目主人 山田 耕之亮氏
12:50～親子丼ジャングルジム贈呈式(13:10終了)

場所：岩手県 宮古市立 鯉ヶ崎小学校
日時：2019年4月16日(火)午後15時45分～
(岩手県宮古市熊野町6-33)

内容：15:45～登り棒贈呈式(16:10終了予定)

■ 山田 耕之亮氏プロフィール

日本橋人形町で創業251年、元祖「親子丼」が有名な鳥料理「玉ひで」の8代目。老舗の味と技を守るとともに、明治期の復刻版メニューやコンビニ弁当の共同開発から社会貢献まで、新たな挑戦にも取り組んでいる。



■ 児童夢基金プロフィール

一般社団法人 児童夢基金は、東日本大震災時、大船渡市と陸前高田市の子どもたちへランドセルや文具を送ったことをきっかけに、復興支援活動を継続的に企画・実行するボランティア団体として2011年3月に発足しました。以降、被災地の復興に欠かせない子どもたちの夢を応援する基金として活動を続け、2013年9月に非営利法人として再編されました。現在では、被災地に限らず「未来を担う子どもたちが夢を抱き、前に進む力を育むためのサポートを行う」という目的での様々な支援要請を受け付けています。

<主な支援活動>

2011年3月31日 ランドセルや靴、文具など100箱以上の荷物を積んで子どもたちの元へ出発
2012年1月 気仙小学校3学年分の卒業アルバム復刻支援
2012年12月 気仙中学校卒業アルバム復刻支援
2013年10月 末崎小学校卒業アルバム復刻支援
2014年4月 大船渡中学吹奏楽部へ吹奏楽楽器一式贈呈
2014年12月 「リアスリーグ決勝戦」支援
2015年5月 大船渡市立猪川小学校へ運動会支援
2015年12月 「リアスリーグ決勝戦」応援
2016年5月 大船渡市立猪川小学校へ運動会支援
2018年4月 大船渡市立立根小学校ジャングルジム・うんてい寄贈
2018年10月 山田町立山田南町学校ジャングルジム寄贈
2018年12月 陸前高田市立広田小学校ジャングルジム・うんてい寄贈

<本件に関するお問合せ先> 一般社団法人 児童夢基金 担当：青柳

Tel: 090-6952-2331 E-mail: info@yumefund.org

URL: www.yumefund.org